

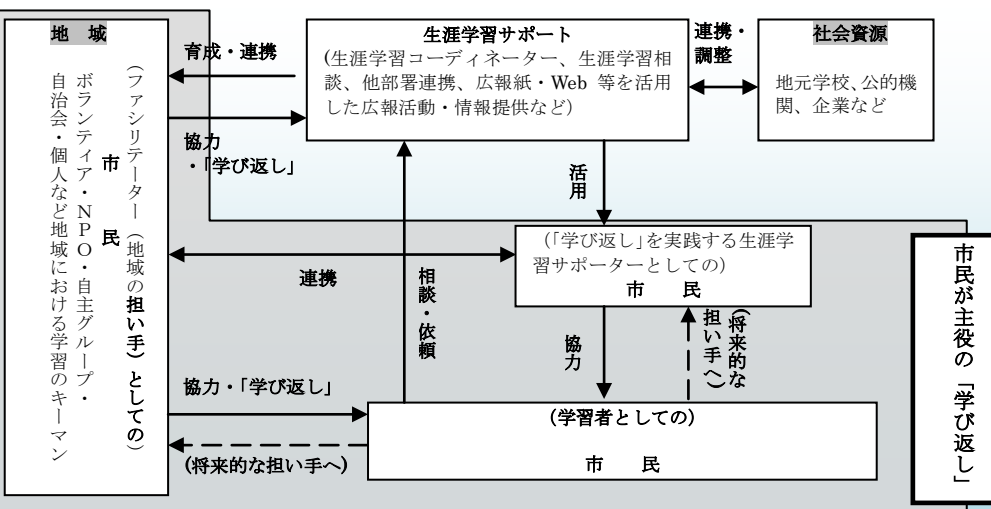
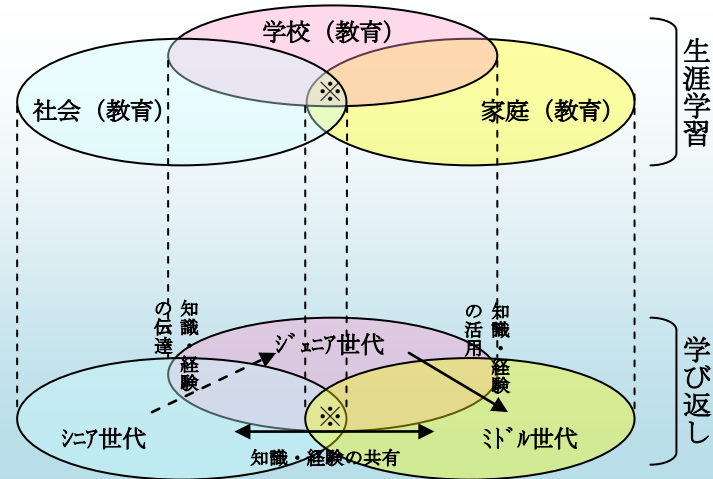
生涯学習推進の重点施策

「学び返し」を通じた地域教育力の向上を推進し、市と市民、地域、各種関係機関などの連携・協働を進めるため、次の3つの施策に重点的に取り組み、第5次府中市総合計画の基本目標のひとつである「**心と文化をはぐくむまちづくり**」の実現を目指します。

- 1 ワークショップ（発表・活動・交流の場）の充実
- 2 生涯学習サポート（学習活動の支援・相談・情報提供）の創設と推進
- 3 生涯学習ファシリテーター（地域の担い手）の育成と活用

【世代間における「学び返し」】 知識・経験の循環イメージ】

- ・ジュニア世代（乳児から学生の年齢層）
→学校教育の主役世代
 - ・ミドル世代（就労中及び学校教育修了者の年齢層／おおむね定年年齢（60歳前後）まで）
→家庭教育の主役世代
 - ・シニア世代（比較的自分の時間にゆとりを持つ世代／おおむね定年年齢以上）
→社会教育の主役世代
- ※…地域の担い手（ファシリテーター）がそれぞれをつなぐ位置



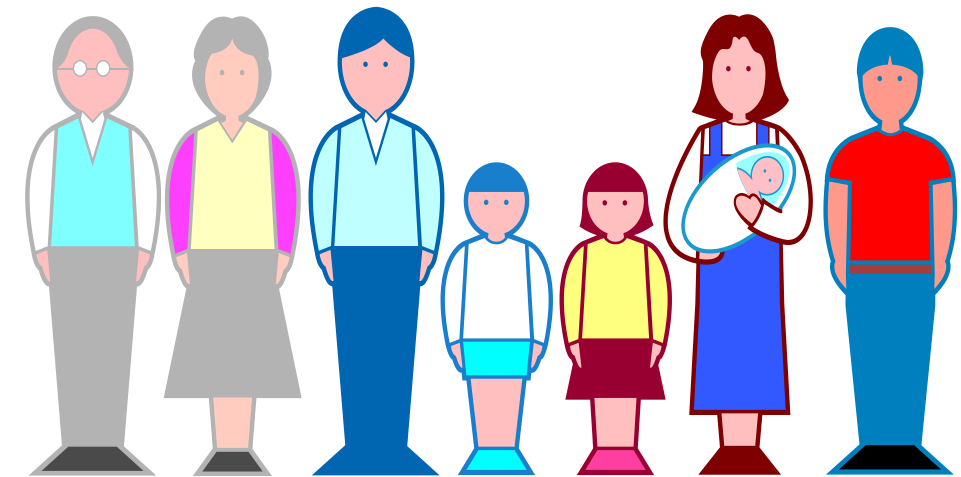
【生涯学習サポート・ファシリテーターの位置づけイメージ】

第2次府中市生涯学習推進計画（概要版）

- 発行日 平成21年4月
- 編集・発行 府中市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
〒183-8703 府中市宮西町2丁目24番地
電話 042-364-4111（直通）、042-336-5711（ダイヤルイン）
FAX 042-336-5709
ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

概要版

第2次府中市生涯学習推進計画 ～「学び返し」を通じた地域教育力の向上～



本計画は、「第5次府中市総合計画」に掲げられた本市が目指すべき都市像である「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」の実現を目指し、これらの社会変化に的確に対応していくために、新しい時代の本市の教育行政の確立を目指して、「学び」から「学び返し」をキーワードとして、現状に沿った見直しを行い、今後10年間の長期的な市の生涯学習の方向性を定めるものです。

平成21年4月
府中市

計画の策定に当たって

この計画は、第5次府中市総合計画の「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」の実現をめざし、さらに幅広い世代（ジュニア・ミドル・シニアの各世代）の市民が、あらゆるライフステージでそれぞれの目的、ニーズに応じて自由に学習の機会や交流の場を選択しながら学ぶことができるよう計画を策定します。また、これまでの「学ぶ」だけの姿勢から、一人ひとりが学習した内容を地域に生かす「学び返し」を実践し、市が啓発・支援することで、更なる市民の学習意欲の向上が図れるよう、生涯学習に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するものです。

計画の基本理念

本計画を実現するにあたり、学ぶだけではなく、「学び返し」へと一歩進んだ自主的な学習のあり方の重要性、そこから生まれる地域・家庭・学校教育の連携における地域教育力の向上を目指し、基本理念を以下のとおり掲げます。

「学び返し」を通じた地域教育力の向上

計画の基本目標

1 学んだことを地域で生かすー「学び返し」の支援とネットワークの整備

学んだ成果を発表するだけでなく、さらに一歩進め、一人ひとりが学んだことを、生涯学習活動やさまざまな地域活動の中で生かす「学び返し」を推進し、「市民が主役の学習活動」となる生涯学習を進めます。

2 ジュニア・ミドル・シニア世代を相互につなぐ学習機会と居場所づくり

家庭・学校・地域の連携を高めるために、幅広い世代の市民が交流し、それぞれの知識や経験を伝え合う環境をつくります。そこから、豊かな学習活動を進めることができるよう、きめこまかな学習機会の提供と居場所づくりを進め、同好者の学習機会の支援だけでなく、各世代間の情報の伝承・共有を図る意味でも「学び返し」を進めます。

3 地域教育力を高めるための新しい学習活動の支援

激しく変化する社会情勢や急速な情報化に対応したテーマで学習できる機会の確保を支援します。

4 「学び」・「学び返し」を迅速・適切につなぐ情報提供・相談体制の拡充

市民の自主的な学習を支援する、情報の提供・相談体制の拡充及び市民が主役として活躍する「ファシリテーター（地域の担い手）」を実現します。

5 推進体制の整備

市及び各行政分野、施設で行われる学習活動を生涯学習の観点から体系化するとともに、国や都などの公共機関、民間団体、地域、企業などとの役割分担の明確化を図りながら、ファシリテーターを中心とした、市民との連携、協働を進め、地域ぐるみの生涯学習推進体制の確立に努めます。

施策の体系図

